



荒廃地を再生し（写真上）、
新規就農者のための実習農場
に（写真下）

員会の利用状況調査では毎年リストに上がり、懸案の農地であった。

昨年、市と市農業委員会、府が協力して同社に斡旋し、耕作放棄地再生利用緊急交付金を活用して農地を再生。今年4月に、新規就農を目指す人に栽培技術や農業経営を教える学校を開設するに至った。

耕作放棄地80㌥再生し活用

担い手を育てる実習農場に

城陽市農業委員会（谷則男会長）は、京阪神をはじめ首都圏などにおいて、農業体験農園の運営や農業の

人材育成などを行う㈱マイ

ファーム（本社・京都市）

に耕作放棄地80㌥を斡旋

（あっせん）し、耕作放棄

地再生につなげた。

当地は、市西部の木津川

沿いに広がる優良農地に隣

接する、市外居住者の所有

農地で、長期にわたり耕作

されていなかった。農業委

培技術を学んでいる。

城陽市では、今後新たな

担い手の確保、育成につな

がることを期待している。

（城陽市農業委員会）